

Q カフェ in 紀の川 開催記録

(ver7 : 2025 年 9 月 20 日現在)

(参加費無料、要予約、20 台程度の駐車場あり)

第 1 回 Q カフェ (済) 参加者 30 名

タイトル : ウガンダ東部稲作地帯での活動報告

講演者名 : 田中 良 (前青年海外協力隊員)

開催日時 : 2024 年 3 月 29 日 (金) 午後 7 時~9 時

開催場所 : 紀の川市農村婦人の家 2 階大広間

紀の川市野上 150 (川原小学校正門前)

話題概要 : 青年海外協力隊員としてウガンダでの農業支援活動の後、紀の川市で果樹栽培を実践されている田中良さんと国際協力のあり方について一緒に考えてみましょう。

第 2 回 Q カフェ (済) 参加者 41 名

タイトル : 災害発生時の救護について・日赤ボランティアの視線から

講演者名 : 大林 紀雄 (和歌山県安全赤十字奉仕団委員長)

開催日時 : 2024 年 5 月 24 日 (金) 午後 7 時~9 時

開催場所 : 紀の川市農村婦人の家 2 階大広間

紀の川市野上 150 (川原小学校正門前)

話題概要 : 能登震災における日赤救護活動にボランティアとして参加した経験から、能登の状況とともに、発災時の救護活動と災害への備え、及びボランティア活動についての情報を提供していただきます。

第 3 回 Q カフェ (済) 参加者 44 名

タイトル : 検視・検案業務と自殺

講演者名 : 阪口 大和 (阪口クリニック院長)

開催日時 : 2024 年 7 月 5 日 (金) 午後 7 時~9 時

開催場所 : 紀の川市農村婦人の家 2 階大広間

紀の川市野上 150 (川原小学校正門前)

話題概要 : 私たちは、TV 番組の影響で科捜研という言葉にすっかり馴染んでいます、実際の現場で活動されている阪口先生から、検視・検案に関しての説明と和歌山県の自殺の状況を踏まえて自殺防止についてお話しいたします。

第 4 回 Q カフェ (済) 参加者 54 名

タイトル : チェロの世界

講演者名 : チェロ 福田 浩丈 (福田バイオリン&チェロ教室主宰、きのかわ弦楽合奏団音楽監督、一般社団法人和歌山フィルハーモニー管弦楽団代表理事)

ピアノ 深田陽子 (ふかたによこピアノ教室主宰)

開催日時 : 2024 年 8 月 2 日 (金) 午後 7 時~9 時

開催場所 : 紀の川市農村婦人の家 2 階大広間

紀の川市野上 150 (川原小学校正門前)

話題概要 : チェロとピアノによる、古今東西、様々な名曲の紹介します。皆様と楽しい時間になればと思います。(福田先生は、NHK 朝ドラ : ブギウギの歌合戦場面でチェ

口演奏者として登場されました。

第5回 Q カフェ（済）参加者 51 名

タイトル：日本語のちから

講演者名：中嶋 悦子（国際協力および多文化共生のボランティア活動）

開催日時：2024 年 10 月 12 日（土）午後 7 時～9 時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2 階大広間
紀の川市野上 150（川原小学校正門前）

話題概要：民族はそれぞれに異なる言語を持ち、そのことが民族の多様性を生み出す要因となっています。そのため、各民族にとって、語学教育は、自己のアイデンティティを育てるために最も重要な活動です。ここでは、来日する外国人に対する日本語教育のあり方を通じて、国際交流の本質を考えてみましょう。

第6回 Q カフェ（済）参加者 52 名

タイトル：がんを知り尽くそう

講演者名：原田 浩（京都大学大学院生命科学研究科附属放射線生物研究センター・教授）

開催日時：2024 年 12 月 13 日（金）午後 7 時～9 時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2 階大広間
紀の川市野上 150（川原小学校正門前）

話題概要：なぜ私たちのカラダの中に「がん」ができるのでしょうか？どの様な治療法があるのでしょうか？がんの理解の深化とがん治療の進化を紹介していただきます。

第7回 Q カフェ（済）参加者 43 名

タイトル：原子爆弾の誕生

講演者名：児玉 靖司（大阪公立大学名誉教授）

開催日時：2025 年 1 月 25 日（土）午後 2 時～4 時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2 階大広間
紀の川市野上 150（川原小学校正門前）

話題概要：この度、被爆者団体の地道な活動がノーベル平和賞に輝いたことは、大変明るいニュースです。一方で、大国の指導者が、堂々と核兵器を使用する準備があると宣言する暗いニュースもあるのが現状です。核兵器大国が有事において対峙するこの世界の構図は、しばらくは変わらないでしょう。その根源となった原子爆弾を、人類の平和に寄与すべき傑出した科学者が、なぜ一致団結して造るに至ったのか、その過程をもう一度掘り起こして、参加者とともに考えてみたいと思います。

第8回 Q カフェ（特別企画）（済）参加者 42 名

タイトル：パネル討論会 私にとって幸せとは何か？
（今年度の Q カフェを振り返って）

司 会：渡邊正己（窮理庵）

パネラー：今年度の Q カフェの講師 7 名

開催日時：2025 年 3 月 8 日（土）午後 2 時～4 時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2 階大広間
紀の川市野上 150（川原小学校正門前）

開催趣旨：1 年間 7 回の講演会に参加していろいろな情報・知識に出会われたと思います。しかし、その知識がどのように使えるかがわからないと感じている方が多いのではな

いかと思います。そこで、いろいろな人に自分の考えを話していただき新しい知識を自分の知恵として使えるようにしてみませんか？

第9回 Qカフェ (済) 参加者 48名

タイトル：縁起の良い動物たち

講演者名：佐藤 潤 画伯

開催日時：2025年5月31日(土) 午後2時～4時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2階大広間
紀の川市野上150(川原小学校正門前)

話題概要：佐藤潤画伯は、生物多様性をテーマに絶滅危惧種の動物たちを描く動物画家として活躍されています。作品は「ひとと自然のより良い関係」をテーマに描いてこられましたが、最近は、動物と吉祥をテーマにしたシリーズや蛤の貝殻を使って「貝合わせ」を制作し、国内外から注目を集めておられます。今回は、作画を通じた自然保護や動物保護への取り組みについてお話ししていただきます。({ [HYPERLINK "https://junsatooffice.com"](https://junsatooffice.com) })

第10回 Qカフェ 参加者 (済) 48名

タイトル：哲学を哲学する

講演者名：松本 智裕(京都大学大学院生命科学研究科付属放射線生物研究センター教授)

開催日時：2025年7月12日(土) 午後2時より4時まで

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2階大広間
紀の川市野上150(川原小学校正門前)

話題概要：ヒトの内側を考察するのが哲学、外側を考察するのが自然科学。哲学と数学は、人生や世界、宇宙の本質を論理的な思考によって解明しようとする学問です。学問の分野にはさまざまなものがありますが、哲学は個々の垣根を超えて広く関心を向け、「生きるとはどういうことか」、「人はどう生きるべきなのか」、「人の幸せとはか」といったヒトの内側に生ずる問いへの答えとなるべき真理を目指す営みです。そして、その答えの正しさを証明する営みが数学といえます。ちんぷんかんぷんな話ですがこの難しい内容を易しく解説していただきます。

第11回 Qカフェ 参加者 (済) 52名

タイトル：ストレスを科学するーストレスを感じるのは生きている証拠

講演者名：渡邊 正己 (京都大学・名誉教授)

開催日時：2025年9月12日(金) 午後7時～9時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2階大広間 紀の川市野上150(川原小学校正門前)

話題概要：ひとは、地球上に誕生してから、物理・化学的ストレス、生理的ストレス、精神的ストレスなど、実に様々なストレスにさらされています。そして、最近の生命科学研究の進歩は、ひとのストレス応答の仕組みを次第に明らかにしています。私たちが、ストレスを感じない生活を手にいれることは、そんなに簡単ではありませんが、最近の研究成果によれば、ひとには驚くべきストレス対応能力が備わっていることがわかってきました。今回のセミナーでは、ひとのストレスの本来の姿を科学的に理解し、ストレスにうまく対応出来る術を考えてみましょう。

第12回 Qカフェ (次回開催予定)

タイトル：遺伝病やがんの研究から日本人の起源を遠望する

講演者名：高田 穰（京都大学・名誉教授）

開催日時：2025 年 11 月 8 日（土） 午後 2 時～4 時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2 階大広間 紀の川市野上 150（川原小学校正門前）

話題概要：地球上に生命が生まれ 36 億年といわれます。最初は、とても簡単な生物でしたが進化を続け、様々な動植物が今の多彩な地球生命群を作り上げています。その進化の歴史は、遺伝子（ゲノム）に記録されています。日本列島に暮らす人々の過去もゲノムに記録されていることでしょう。高田先生は、遺伝子研究の専門家で、ひとの病気やがんを遺伝子レベルで解析する研究を続けてこられました。その活動を通じて、日本人に特徴的な「お酒がのめなくなる遺伝子」で発症する病気をみつけられました。この遺伝子が発生したのは、いつ、どこでしょうか？今回の講演では、ご自分の遺伝子解析の結果から、国内で新発見がつついている日本人の過去をめぐる研究成果を参照しつつ、日本人が成り立ってきた道筋を推測して紹介いただけたと思います。

第 13 回 Q カフェ（次次回開催予定）

タイトル：紀の川市の野生動物（仮題）

講演者名：仲谷 淳（和歌山県環境アドバイザー）

開催日時：2026 年 1 月 12 日（金） 午後 7 時～9 時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2 階大広間 紀の川市野上 150（川原小学校正門前）

話題概要：動物生態学を専門分野に研究をしてこられた仲谷淳さんは、定年を機に帰郷し、小さいころから足を運んだ龍門山周辺の野生の生き物の調査をしておられが、その経験をもとに紀の川の動物の元気な姿をお話しいただく。（仮内容）

参加申込：

参加費は不要ですが参加申込が必要です。

会場準備のために Q カフェ事務局まで参加登録していただくようお願いします。

その際、**(1) 氏名、(2) 電話番号、及び (3) メールアドレス**をお知らせください。

すでに、登録をしてくださっている方は、氏名だけをお知らせください。

Q カフェ事務局：

担当者：渡邊 喜美子

電話：090-7106-0493 e メール：msm@rbnet.jp

Q カフェ in 紀の川事業は、京都大学の窮理養心塾プロジェクト
（<http://rbnet.jp/kyuuri/kyuuri.html>）との共催事業です。